

日本藻類学会第 32 回大会のお知らせ

—東京・2008—

表記大会を、下記の要領で開催しますので、奮ってご参加下さい。
第 32 回大会会長 能登谷 正浩

1. 日程

2008 年 3 月 21 日 (金): 編集委員会・評議員会・ワークショップ I
3 月 22 日 (土): 8:00 ~ 受付・口頭・ポスター発表・シンポジウム・総会・懇親会
3 月 23 日 (日): 口頭・ポスター発表・ワークショップ II (~ 24 日)

2. 会場 (図 1)

大 会: 東京海洋大学海洋科学部 (品川キャンパス)
懇親会: 東京海洋大学生協食堂
ワークショップ II: 東京海洋大学水圏科学フィールド教育研究センター館山ステーション (千葉県館山市坂田)

3. 参加費

大会参加費: 5,000 円 (学生 3,000 円)
懇親会費: 5,000 円 (学生 3,000 円)
ワークショップ I 参加費: 2,000 円 (テキスト代込み、徴収は当日)
ワークショップ II 参加費: 10,000 円 (夕朝食 3 食・飲食費・バス代・冊子代込み)

4. 参加および発表の申し込み

(1) 参加方法

大会参加者は発表の有無または共同発表者の有無に関わらず、参加申込票に必要事項を記入し、電子メールまたは郵送にてお申し込みください。参加申込票は日本藻類学会のホームページ (<http://www.soc.nii.ac.jp/jsp/Welcome.htm>) からダウンロードして所定の事項を記入し、添付書類として送信するか (宛先 d-fujita@kaiyodai.ac.jp)、本誌綴じ込みの参加申込票に必要事項を記入し、郵送または FAX にて下記の大会実行委員会へお送り下さい。

(2) 研究発表 (一般発表) の申し込み方法

研究発表される方 (演者のみ) は、下記の要領で発表要旨の原稿を大会実行委員会宛にお送りください。会場およびプログラム上の制約から、大会実行委員会の判断でポスター発表への変更を依頼する場合があります。その場合はご協力をお願いします。

(3) 参加費 (大会参加費、懇親会費、ワークショップ II 参加費) の払い込み方法

本誌挟み込みまたは郵便局備え付けの郵便振替用紙を使って送金して下さい。

振込先: 日本藻類学会第 32 回大会実行委員会
口座番号: 00130-9-542259

(4) 締切

参加申込票の送付・送金: 2008 年 1 月 15 日 (火) [必着]
キャンセルは e-mail で前日までにご連絡下さい。可能な限りの返金を大会終了後に致します。

発表要旨原稿送付: 2008 年 1 月 24 日 (木) [必着]

5. 郵送・FAX の場合の参加申込票の送付先 (できるだけ上記 e-mail へお申し込み下さい)

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7
東京海洋大学海洋科学部 応用藻類学研究室内
日本藻類学会第 32 回大会実行委員会宛
FAX: 03-5463-0537

6. 編集委員会および評議員会

編集委員会: 2007 年 3 月 21 日 (金) 15:00-16:30
評議員会: 同日 16:30-18:00
会 場: 東京海洋大学海洋科学部 2 号館 201 号室
連絡先: Phone/FAX: 03-5463-0537 (藤田)

7. 一般発表

口頭発表は隣接する 2 会場 (それぞれ 100 人教室) で実施しますが、先着 70 講演程度となりますので、ご了承下さい。ポスター発表は 3 ないし 4 会場で実施します。

8. シンポジウム

22 日 15:00-17:00 に大講義室にて、一般公開 (会員は参加無料、会員外は参加費 1,000 円) で開催します。「海藻の社会・経済的インパクト」(コンビーナー: 能登谷正浩) のテーマで、5 講演を予定しております。

9. ワークショップ I・II (いずれも予約制、学会員のみ対象) ワークショップ I 「分子系統解析の基礎と実践」

講師: 本多大輔 (甲南大)
日時: 3 月 21 日 (金) 午後を予定
定員: 30 名
内容: 分子系統解析の初心者を対象として、アラインメント、置換モデルの検証、系統樹探索、系統樹の信頼性とその評価、について、東京海洋大学内の教室で講義と実習を行います。事前登録者のみを対象とします。また、各自で Windows のパソコン (OS は XP) をご用意ください。
申込: 受講希望者は、2008 年 1 月 31 日までに、電子メールで名前と連絡先 (住所、電話番号、電子メールアドレス) を jsp2008@nies.go.jp (河地正伸・国立環境研究所)

までご連絡下さい。開催の詳細は日本藻類学会のホームページなどで案内されますので、ご参照下さい。

ワークショップII「海藻と付着性微細藻（珪藻・藍藻・渦鞭毛藻・ハプト藻・鞭毛虫）の分類と生態」

講師：堀口健雄（北大）・河地正伸（国立環境研究所）・
宮下 明（京都大）・中山 剛（筑波大）・田中次郎・
藤田大介・鈴木秀和（海洋大）

日時：3月23日（日）15:00 - 24日（月）17:00

定員：30名

内容：東京海洋大学水圏科学フィールド研究教育センター館山ステーション（坂田）の地先の磯浜で、海藻と付着性微細藻類（珪藻、藍藻、渦鞭毛藻など）の採集と観察を行います。23日（日）15:00に東京海洋大学から貸切バスで移動し、ステーションで夕食・歓談・宿泊（学生用相部屋2段ベッド）し、翌日、採集と観察と簡単な講義を行います（潜水はできません）。24日（月）の最干潮は11:52(15 cm)です。14:00に現地を出発し、17:00頃に品川キャンパスで解散となります。

申込：大会申込みと同時に、申込票に記入して実行委員会までお申込み下さい。

備考：ステーション付近（館山市坂田）の民宿やペンションに宿泊を希望される方は、HP「館山の民宿」などを参考にして各自でお申し込みになり、その旨を担当者にご連絡下さい。JR 館山駅周辺にはビジネスホテルもありますが、移動手段はバス（1時間に1本程度、館山駅から西坂田で下車、所要時間30分）で各自の対応となります。なお、ステーション内に宿泊されない方、各自の交通手段でステーションに来られる方についても、参加費は一律10,000円を申し受けます。

10. 問い合わせ先

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学海洋科学部
＜日本藻類学会第32回大会実行委員会＞

応用藻類学研究室：能登谷正浩（大会会長・シンポジウム0532）・藤田大介（実行責任・申込受付＜ワークショップIを含む＞0537）・大葉英雄（会計0540）

藻類学研究室：田中次郎（要旨集0526）・鈴木秀和（会場0528）

E-mail: notoya, d-fujita, ohba, jtanaka, hsuzuki
@ kaiyodai.ac.jp の前に付けて下さい。

Phone/FAX: 03-5463-0537（藤田、他委員の下4桁は上記。
極力e-mailをお願いします。）

11. 会場までの交通（図2）・宿泊

東京海洋大学海洋科学部（品川キャンパス、旧東京水産大学）へのアクセスはJR・京浜急行（地下鉄都営線連絡）の品川駅もしくは東京モノレール・りんかい線の天王洲アイル駅が便利で、いずれも徒歩10～15分です。空路の方は、羽田空港から

浜松町行きモノレールに乗り、終点1つ手前の天王洲アイル駅で下車して下さい。品川駅から来る場合には大学の正門、天王洲アイル駅から来る場合には裏門から学内に入ることになります。このほか、京浜急行（地下鉄都営線連絡）で来場される方は北品川駅で下車し、裏門から学内に入れます。

宿泊先は、大会実行委員会では一切お世話できませんので、各自で手配をお願いします。

12. 発表要旨原稿の作成要領と原稿送付方法

原稿形式：MS-WORD形式の電子ファイルのみで受け付けます。実行委員会と編集委員会においてフォーマットなどの修正を行い、要旨集および和文誌「藻類」に掲載します。

記載順序：演者名、演題、本文、所属の順に書いて下さい。所属は（ ）でくり、最下段末尾に書いて下さい。

共著と所属の表示：共著の場合は演者名の前に○をつけて下さい。所属が異なるときは、各著者名の後ろに*印を付し、所属ごとに区別して下さい。

フォント：全角文字（2バイト文字）は明朝体12ポイント、英字（1バイト文字）はTimesまたはTimes New Roman（12ポイント）を使用して下さい。日本語変換ソフトに依存する2バイト特殊文字（例：①、Ⅱ、℃）は、使用しないで下さい。

句読点：和文原稿の場合、「，」と「。」を使用して下さい。

学名表示：下線付き表示ではなく、イタリック（斜字体）で表示して下さい。

ご注意：著者校正はありませんので、十分なチェックを行った上で投稿をお願いします。原稿の文字数は、講演題目、発表者氏名、所属、本文を含めて最大700文字（全角）です。これを超えた場合、要旨集に掲載できませんのでご注意下さい。

送付先・方法：下記の送付先に、下記のメール件名で、電子メールの添付ファイルにてお送り下さい。同時に、A4の用紙にプリントアウトした要旨原稿をFAXにてお送り下さい。この原稿は会誌印刷用ではなく、打ち出し見本（文字化け確認など）として使用します。

メール原稿送付先：d-fujita@kaiyodai.ac.jp

FAX 原稿送付先：03-5463-0537

メール件名：第32回藻類学会発表原稿（発表の筆頭者の苗字、複数ある場合は1, 2・・・）

例：第32回藻類学会発表原稿（大葉2）

13. 発表形式

(1) 口頭発表

時間：発表12分、質疑応答3分です。

機器：デジタルプロジェクターのみが使用できます（OHPは使用できません）。申込用紙にWindowsXP、VistaおよびMacの区別をお示し下さい。

(2) ポスター発表

サイズ：縦160 cm以下、横80 cm以下の大きさで作成し

て下さい。
 貼り付け用具：ピンまたはテープを大会実行委員会で準備します。

必要記載事項：ポスターの上部に、発表番号、表題、氏名（所属）を明記して下さい。

構成：目的、実験結果、考察、結論についてそれぞれ簡潔にまとめた文章をつけて下さい。

写真・図表：それぞれに簡単な説明文を添付して下さい。

フォント・図表サイズ：少し離れた場所からでも判読できるようご配慮下さい。

掲示期間：3月22日(土)10:00頃までに所定の場所に掲示し、23日(日)15:00頃までに撤収して下さい。

ポスター集中討論：3月22日(土)昼と23日(日)昼の2回行う予定です。

14. その他

日本藻類学会第32回大会関連の情報は、随時、日本藻類学会ホームページに掲載しますので、ご確認をお願いします。特に、ワークショップIに参加される方は確認をお願いします。

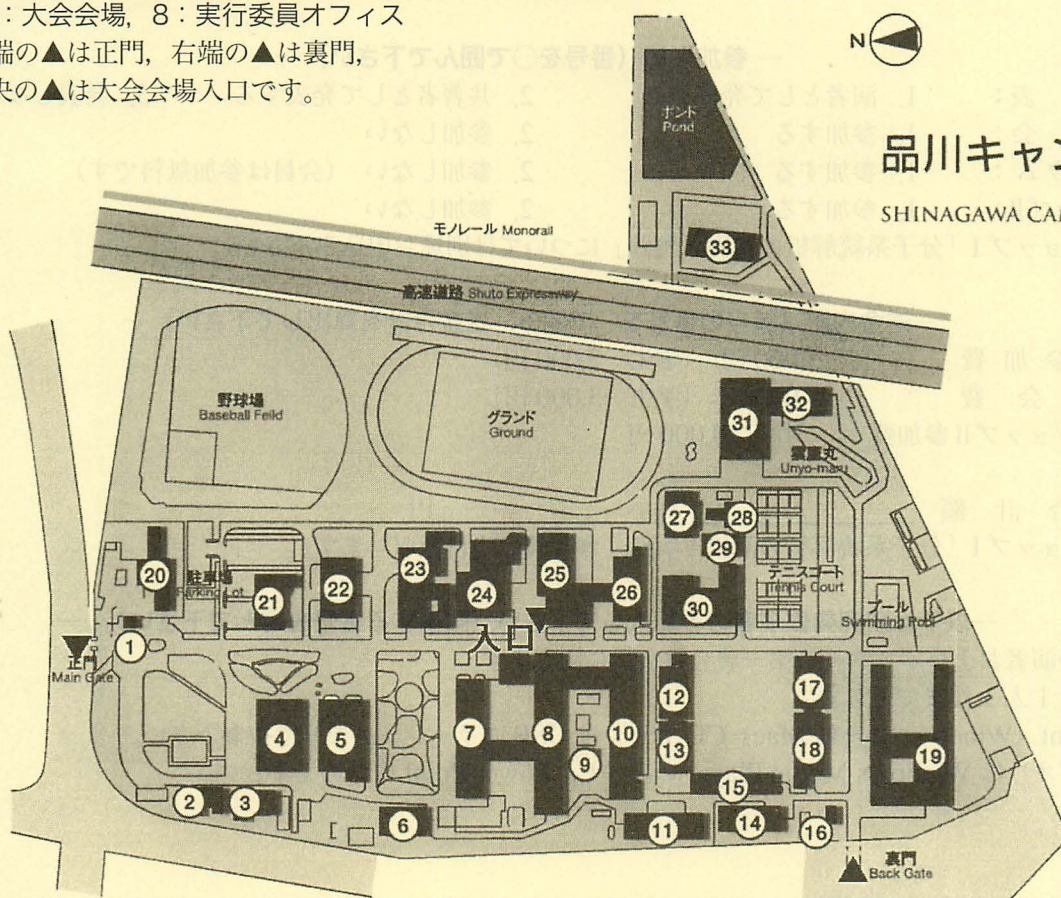
それでは、皆様のご参加を心からお待ち申し上げております。

図1 東京海洋大学海洋科学部（品川キャンパス）構内図

25：大会会場，8：実行委員オフィス

左端の▲は正門，右端の▲は裏門，

中央の▲は大会会場入口です。



1 守衛所 Guard House	12 6号館 Number 6 Building	23 附属図書館 (University) Library
2 保健管理センター Health Service Center	13 7号館 / 社会連携推進共同研究センター Number 7 Building / Collaboration Center	24 大学会館 (University) Hall
3 職員集会所 Employee Guesthouse	14 放射線同位元素利用施設 Radioisotope Laboratory	25 講義棟 Lecture Room Building
4 本部管理棟 Administration Building	15 水理模型実験棟 Hydraulic Test Laboratory	26 5号館 Number 5 Building
5 講堂 Auditorium	16 wastewater 処理施設 Wastewater Treatment Plant	27 武道館 Martial Arts Gymnasium
6 回流水槽実験棟 Circulating Water Channel	17 8号館 Number 8 Building	28 体育管理・合宿施設 Facilities for Management of Physical Education
7 1号館 Number 1 Building	18 9号館 Number 9 Building	29 課外活動施設 Extracurricular Activity Facilities
8 2号館 Number 2 Building	19 学生寮（朋廣寮） Student Dormitory (Tomohiro寮)	30 特殊実験棟 / 情報処理センター Special Research / Research Information Processing Center
9 飼育実験室 Fish Laboratory	20 国際交流会館 International House	31 体育館 Gymnasium
10 3号館 Number 3 Building	21 薬水会館 Pharmaceutical Science Museum	32 漁業機械学実験実習棟 Experiment and Practice of Fishery Mechanics
11 4号館 Number 4 Building	22 水産資料館 Museum of Fishery Science	33 倉庫 Warehouse

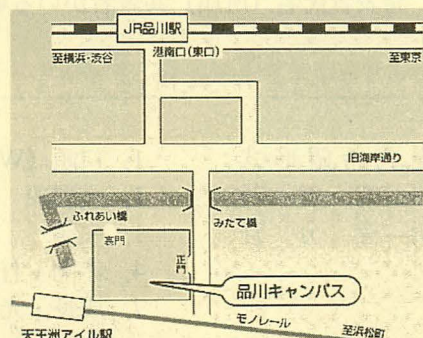


図2 品川駅・天王洲アイル駅からのアクセス

FAX : 03-5463-0537

日本藻類学会第 32 回大会参加申込票

< 2008 年 1 月 15 日必着 >

(フリガナ)

氏 名 : _____ 所 属 : _____

連絡先住所 : 〒 _____

電 話 : _____ FAX : _____

電子メールアドレス : _____

— 参加形態 (番号を○で囲んで下さい) —

- ・ 研 究 発 表 : 1. 演者として発表する。 2. 共著者として発表する。 3. 発表しない。
- ・ 懇 親 会 : 1. 参加する 2. 参加しない
- ・ シンポジウム : 1. 参加する 2. 参加しない (会員は参加無料です)
- ・ ワークショップⅡ : 1. 参加する 2. 参加しない

(ワークショップⅠ「分子系統解析の基礎と実践」については別途お申込み下さい)

— 送金内訳 (該当の番号を○で囲み, 送金合計を算出して下さい) —

- 1. 大会参加費 5,000 円 (学生 3,000 円)
- 2. 懇親会費 5,000 円 (学生 3,000 円)
- 3. ワークショップⅡ参加費 一律 10,000 円

送 金 合 計 額 _____ 円

(ワークショップⅠ「分子系統解析の基礎と実践」参加費は当日徴収します)

— 以下は研究発表演者のみ記入して下さい (該当する番号を選んで下さい)。 —

- ・ 口頭発表の演者およびポスターの第一著者は会員に限ります。
- ・ 口頭発表は 1 人 1 件までとします。
- ・ Power Point (Windows または Mac) CD もしくは USB フラッシュメモリで持参下さい。
- ・ 動画 (ビデオ) は Windows Media Player のみとし, Power Point に含めて下さい。

演題 : _____

発表者氏名 (所属) 共著者がいる場合は演者の左肩に○を付けて下さい。

-
- | | | |
|----------|---|-----------------------------|
| 発表希望形式 : | 1. 口頭 (Windows Me ~ XP・Vista・Mac ← 該当を○で囲む) | 2. ポスター |
| 研究材料 : | 1. 大型藻 | 2. 微細藻 3. その他 |
| 研究分野 : | 1. 生態 | 2. 増養殖・藻場造成 3. 利用・加工 |
| | 4. 赤潮・有害藻類 | 5. 細胞構造・機能 6. 発生・分化・生理 |
| | 7. 成長・光合成 | 8. 生理活性物質・代謝・酵素 |

以上, 口頭, ポスターを含め, 複数発表される方は, 本誌のコピーもしくは日本藻類学会ホームページからダウンロードした申込票を発表件数分だけ, 記入してお送り下さい。